



## 年間第 32 主日 (マルコ 12:38-44)

あなたのおささげは何を表していますか

今週年間第 32 主日の福音朗読は、神が私たち人間に何を求めておられるのかを考えさせている内容となっています。神は私たちに特別なことを求めているのではなく、ごく日常的な振る舞いを、神の望みに叶うように整えなさいと求めているのです。

今週は二つのことが取り上げられていて、一つは律法学者の振るまいが非難され、もう一つはやもめの献金が称賛されています。最初に前置きしたことを踏まえて考えるならば、律法学者は神の望みをないがしろにしていたことになり、やもめは神の望みを誰よりも実行していた、ということです。

ところで、律法学者の振る舞いは特殊なものだったのでしょうか。

「長い衣を着る」「広場で挨拶される」「上席、上座に座る」というのは、特別な振る舞いとまでは言えなかったようです。それらが非難を受けたのは、彼らの傲慢さのためでした。

長い衣を着るのも良いでしょう。会堂に用意されている上席に座るのも良いでしょう。しかし座る人の心に、「私はあなたたちとは違う」とか「ここに座って当然である」こうした鼻につく態度があるなら、神の望みを踏みにじることになるのです。

次にやもめの献金ですが、神殿の献金箱に献金するのはだれもがすることであり、金持ちが 10 円玉を 500 枚ジャラジャラ入れて、5 千円の献金を大げさにするのも日常見られることでした。だれもがすることであっても、特別な心がけで実行することが大切です。やもめの女性は、言ってみれば 20 円しか入れませんでした。1 円も粗末にできない生活の中で、「神にすべてを委ねて生きる」その心がけも同時にささげたのです。

ちなみに郵便局は来年 1 月から、51 枚以上 100 枚までの硬貨を窓口で預けると 550 円の手数料をもらい受けるそうです。皆さん、ここから先が大事です。理由もなく 100 円の献金をするのに 10 円を 10 枚入れるようなことはしないで下さい。あなたの 10 枚の 10 円で、郵便局から 550 円取られる可能性があるのです。

もちろん、日頃から数円のお釣りを貯めて、それを献金する人もいるでしょう。それはそれで、「お釣りを神様のためにすっかり手放す」という心がけですから、謹んでお預かりします。これからはもう少し頻繁に、窓口に出向かないといけなくなりそうです。

やもめの献金をイエスが称賛したのは、もっと深い理由からです。もう一度イエスの説明を読み返しましょう。「この人は、乏しい中から自分の持っている物をすべて、生活費を全部入れたからである。」(12・44) 彼女の献金は、すべてを神に委ねきって生きるという態度の表れです。これは誰かのことを指しているのではないのでしょうか。

すでにお気づきかと思いますが、「すべてを父なる神に委ねきって

生きる」これを忠実に実行されたのはイエス・キリストです。イエスは生活費を全部入れただけに終わらず、最後は命そのものまで父なる神に差し出したのです。活動の初めから、常にこの覚悟があったので、傲慢な人をはばかりることなく非難し、自分をすっかり神に委ねる人を称賛できたのです。

私たちに当てはめてみましょう。私たちが施すものは、父なる神に自分を委ねるしるしになっているのでしょうか。ミサの前に献金箱に献金を入れています。ミサの献金は、今週一週間を父なる神に委ねるしるしになっているのでしょうか。

実はすでに、ミサに来ている時点で、私たちは「時間」を父なる神に委ねています。日常忙しく働いて過ごす中で、すべての時間は神から与えられたもののはずです。「すべての時間はあなたからのものですから、感謝するためにここに来ました。」ミサに参加するまでの時間、ミサに参加している間の時間、その両方をこのような心でお委ねしたいものです。

中には、生きていることのすべてを神様に委ねている人もいます。前回の葬式で少し話した例えですが、私は小学生の体育の時間に、走り高跳びでバーを越える際、先生から指導もされていないのに背面跳びをしてしまい、思いっきり背中を砂場に打ち付けて息ができなくなり、景色が真っ暗になったことがありました。

初めて「このまま死ぬのかな」とちょっと思った瞬間でした。けれども幸いに何事もなく今まで生かされています。あの時も含め、私が今あるのは神様が生かしてくださったおかげだから、大切に生きようと自覚した出来事でした。

同じような体験をした人はきっといるでしょう。生死の境から帰ってきた人は、命の大切さを誰よりも知っています。その人は自然と神様にすべてを委ねて生きる道を選ぶはず。身近にそのような人と出会ったなら、ぜひ生き方に耳を傾けましょう。きっとその人から、「やもめの献金」のたとえの意味を、頭ではなく肌で感じ、学ぶことができると思います。